

恵庭市下水道ビジョン・経営戦略の進捗状況について

1. はじめに

下水道事業を将来にわたり持続的・安定的に継続していくため、「恵庭市下水道ビジョン・経営戦略(令和4年3月)」(計画期間 R4～R13)に基づく進捗管理を毎年度行っており、“主要施策の進捗状況の確認”及び“計画と実績との財政収支状況の比較”を評価し、事業運営に活かしています。

2. 進捗状況について

(1) 主要施策の進捗状況

主要施策12項目、12指標について進捗状況を確認 . . . 2ページ

◎完了 0指標、○計画どおり実施 又は 目標に向かって継続 12指標

1) 事業完了項目

・なし

(2) 財政収支の比較

1) 収益的収支 . . . 3ページ

計画に比べ、動力費などの維持管理経費が増加したが、人口・世帯数の増加により使用料収入(家事用)が増収した結果、収支結果である当年度純利益は計画値に比べ約1千万円増加しました。

2) 資本的収支 . . . 4ページ

国庫補助金の配分状況に応じ、一部事業の先送り※等により、建設改良費が減少しました。また、建設改良費の財源となる企業債収入についてもこれに応じて計画に比べ減少しました。収支結果である資本的収支不足額は計画に比べ約7千万円減少しました。なお、企業債現在高は、計画に比べ約4億9千万円減少しました。※国庫補助金の配分状況に応じて、健全度や緊急性を勘案の上、優先度が低い一部の事業をやむを得ず先送りしています。なお、優先的に実施することとしている分流化事業等は、企業債の借入により財源を確保し、概ね計画通りの進捗です。

3. まとめ

主要施策及び財政収支ともに良好に進捗しています。

今後につきましては、水道事業と同様の“節水意識の向上や人口減少による使用料収入の減収”、“施設の老朽化や災害に強いインフラ整備などの建設投資の必要性の高まり”、“不安定な物価変動”など社会情勢や経済状況の変化に注視するとともに、“循環型社会の実現や地球温暖化対策への貢献”といった下水道に求められる役割にも留意の上、経営戦略に基づく事業運営により、安全で快適な市民生活や社会活動を支えるべく健全経営に努めて参ります。

(1)主要施策の進捗状況 【下水道事業】

基本目標		基本方針	主要施策	目標区分	評価指標(R13年度末目標)	R6年度	
						評価	進捗状況(概要)
Ⅰ 安定	経営基盤の強化による経営の安定	①健全で安定な経営	投資・財政計画の定期的な見直しや 恵庭市下水道事業財政運営指針に 基づく予算編成及び予算執行の実施	継続	資金繰りに係る安全性が担保される 流動比率150%程度で維持(各年度)	○	流動比率 198.31%(公共下水道)
			維持管理費の軽減による経費圧縮	中期	汚水処理に要する経費を料金収入にて 賄う経費回収率を100%以上確保(各年度)	○	経費回収率 103.95%(公共下水道)
		②知識・技術の習得と継承	研修等による職員への 知識・技術の習得と継承	継続	研修を年1回以上実施及び参加(各年度)	○	内部研修実施数2回(公営企業会計研修:2回) 内部研修への参加率は80% 外部研修への参加回数:合計32回 職員平均2~3回/年参加
			③民間活力の積極利用	短期	管路施設の包括導入検討 処理場施設の包括導入	○	R6は処理場におけるオンサイトPPA導入開始 管渠施設の包括:未導入 処理場 R4年度導入
Ⅱ 快適	下水道の適正な 処理と普及	④汚水管整備による 生活環境の向上	汚水管の整備と適切な維持管理	継続	整備率前年度以上 (R5年度末実績:99.3%)	○	汚水整備率 99.3% 汚水排水需要に応じて整備しているところであ り、整備済面積が昨年同値のため横ばい
		⑤生活排水処理率の向上	合併処理浄化槽の整備	中期	合併処理浄化槽普及率の向上 (R7年度目標:64.3%) (R12年度目標:70.1%)	○	合併処理浄化槽普及率 67.6%
Ⅲ 持続	災害に強く 持続可能な 下水道	⑥雨水網整備による浸水 被害の軽減・解消	浸水発生箇所等の雨水整備	中期	雨水整備率前年度以上 (R5年度末実績:95.9%)	○	雨水整備率 96.1%
		⑦老朽対策	ストック・マネジメント計画に 基づいた改築・更新	継続	(対計画比) 点検調査実施率(R5年度末実績:100%) 修繕改築実施率 管 渠:(令和5年度末実績:35%) 処理場:(令和5年度末実績:36%)	○(※1)	管渠 点検調査実施率 100% 修繕改築実施率 35% 処理場 修繕改築実施率 38%
		⑧地震対策	重要度に応じた計画的な 耐震診断と耐震化	継続	管路耐震化率の向上 耐震化率:(R5年度末実績:69.4%) 処理場耐震化率の向上 耐震化率:(R5年度末実績:38.6%)	○	管路耐震化率 69.5% 処理場耐震化率 38.6% ※処理場耐震設計をR6予算化(R7に繰越)
		⑨維持管理の適正管理	パトロール点検等による適正管理	継続	パトロール点検の実施 (R5年度末実績) マンホール周り舗装補修:101箇所 下水道施設補修:70箇所	○	定期的な点検を実施 →マンホール周り舗装補修58箇所 下水道施設補修116箇所
Ⅳ 環境	資源の有効 利用と環境 に配慮した 循環型社会 の構築	⑩資源の有効利用	地域バイオマスの受入れ バイオマスの有効利用 ごみ焼却排熱の利用 下水汚泥の有効利用	継続	地域バイオマス受入れの継続	○	・地域バイオマス(生ごみ・し尿浄化槽汚泥)を 7,884.4m ³ 受入、下水汚泥と混合し、発生したバ イオガスの99.96%を発電に有効利用。 ・発生汚泥の63%は肥料原料、残る37%は熱資 源(ごみと混焼し熱を回収)に有効利用。(下水 汚泥リサイクル率100%) ・ごみ焼却排熱は、消化槽加温や場内暖房・給 湯、汚泥乾燥に100%有効利用。
		⑪合流改善	完全分流化	短期	分流化完了 R5年度時点81.8% (R7年度完了目標)	○	分流化進捗率 89.6%

目標区分 継続:継続的に達成、短期:5年以内、中期:10年以内

進捗区分 ○:事業完了、○:計画どおり実施 又は 目標に向かって継続、△:遅延 又は 変更、×:未達成

※1:修繕改築の実施は、国庫補助金の配分に応じ、緊急性等を勘定の上、一部先送りしている状況。
なお、ストマネ計画期間内に計画量を整備できるよう毎年予算化をしているところ。

財政収支計画

(単位:千円)

項目\年度		令和5年度	令和6年度			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
		(決算)	(計画)	(決算)	(比較)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)
収益的収入	1 営業収益(A)	1,601,226	1,563,364	1,615,557	52,193	1,552,427	1,532,678	1,519,323	1,505,571	1,507,915	1,473,789	1,450,029
	(1) 料金収入	1,018,961	969,991	1,021,777	51,786	969,662	967,071	964,494	961,916	959,326	956,748	953,034
	(2) 受託工事収益(B)	67,770	71,954	65,093	△ 6,861	71,954	71,954	71,954	71,954	71,954	71,954	71,954
	(3) その他	514,495	521,419	528,687	7,268	510,811	493,653	482,875	471,701	476,635	445,087	425,041
	2 営業外収益	1,075,562	1,097,781	1,083,696	△ 14,085	1,073,200	1,036,870	1,004,906	984,240	1,025,505	991,010	959,478
	(1) 補助金	177,181	202,648	189,479	△ 13,169	183,674	144,017	132,008	124,815	154,287	127,785	117,476
	他会計補助金	139,101	161,148	146,142	△ 15,006	141,124	136,717	125,208	117,015	117,037	115,685	110,376
	その他補助金	38,080	41,500	43,337	1,837	42,550	7,300	6,800	7,800	37,250	12,100	7,100
	(2) 長期前受金戻入	825,470	822,809	821,578	△ 1,231	823,592	820,896	801,103	794,061	799,830	792,000	771,103
	(3) その他	72,911	72,324	72,639	315	65,934	71,957	71,795	65,364	71,388	71,225	70,899
	収入計 (C)	2,676,788	2,661,145	2,699,253	38,108	2,625,627	2,569,548	2,524,229	2,489,811	2,533,420	2,464,799	2,409,507
収益的支出	1 営業費用	2,388,977	2,388,396	2,397,680	9,284	2,354,039	2,274,769	2,233,167	2,215,232	2,295,281	2,207,387	2,163,941
	(1) 職員給与費	70,937	72,407	71,568	△ 839	72,407	72,407	72,407	72,407	72,407	72,407	72,407
	(2) 経費	761,926	766,889	795,153	28,264	746,159	673,777	666,593	668,409	745,925	676,241	671,979
	動力費	84,466	65,646	85,222	19,576	65,616	60,045	59,861	59,677	59,493	59,309	59,047
	修繕費	74,128	77,467	61,172	△ 16,295	77,467	77,467	77,467	77,467	77,467	77,467	77,467
	材料費	197	12,681	106	△ 12,575	12,681	12,681	12,681	12,681	12,681	12,681	12,681
	その他	603,135	611,095	648,653	37,558	590,395	523,584	516,584	518,584	596,284	526,784	522,784
	(3) 減価償却費	1,556,114	1,549,100	1,530,959	△ 18,141	1,535,473	1,528,585	1,494,167	1,474,416	1,476,949	1,458,739	1,419,555
	2 営業外費用	195,324	178,381	196,874	18,493	171,515	167,854	162,678	155,235	154,112	150,197	146,543
	(1) 支払利息	130,782	122,227	127,389	5,162	118,237	111,866	106,762	102,213	98,380	94,538	91,031
	(2) その他	64,542	56,154	69,485	13,331	53,278	55,988	55,916	53,022	55,732	55,659	55,512
	支出計 (D)	2,584,301	2,566,777	2,594,554	27,777	2,525,554	2,442,623	2,395,845	2,370,467	2,449,393	2,357,584	2,310,484
経常損益(C)-(D)(E)		92,487	94,368	104,699	10,331	100,073	126,925	128,384	119,344	84,027	107,215	99,023
特別利益(F)		1	446	24	△ 422	446	446	446	446	446	446	446
特別損失(G)		512	283	369	86	283	283	283	283	283	283	283
特別損益(F)-(G)(H)		△ 511	163	△ 345	△ 508	163	163	163	163	163	163	163
当年度純利益(又は純損失)(E)+(H)		91,976	94,531	104,354	9,823	100,236	127,088	128,547	119,507	84,190	107,378	99,186

※端数処理のため合計額は一致しません。

(消費税抜き)

財政収支計画

(単位:千円)

項目\年度		令和5年度	令和6年度			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
		(決算)	(計画)	(決算)	(比較)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)
資本的収入	1. 企業債	536,800	700,503	596,900	△ 103,603	685,727	379,589	431,409	440,234	415,535	413,407	387,219
	うち資本費平準化債											
	2. 他会計出資金	95,028	98,949	99,016	67	99,068	99,194	90,133	82,114	73,293	64,615	56,709
	3. 他会計補助金											
	4. 他会計負担金											
	5. 他会計借入金											
	6. 国(都道府県)補助金	248,421	384,500	147,905	△ 236,595	253,000	251,750	328,650	354,000	344,500	344,500	330,000
	7. 固定資産売却代金											
	8. 工事負担金	481	825	2,935	2,110	825	825	825	825	825	825	825
	9. その他		438	964	526	438	438	438	438	438	438	438
	計 (A)	880,730	1,185,215	847,720	△ 337,495	1,039,058	731,796	851,455	877,611	834,591	823,785	775,191
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源 (B)											
資本的支出	純計 (A)-(B) (C)	880,730	1,185,215	847,720	△ 337,495	1,039,058	731,796	851,455	877,611	834,591	823,785	775,191
	1. 建設改良費	776,410	1,106,154	686,350	△ 419,804	966,154	652,554	753,454	789,154	757,154	757,154	718,154
	うち職員給与	30,298	36,251	26,092	△ 10,159	36,251	36,251	36,251	36,251	36,251	36,251	36,251
	2. 企業債償還金	887,472	884,486	891,175	6,689	894,936	910,920	881,719	842,725	830,187	766,791	731,128
	3. その他		1,685			1,685	1,685	1,685	5,685	1,685	1,685	1,685
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C)	計 (D)	1,663,882	1,992,325	1,577,525	△ 413,115	1,862,775	1,565,159	1,636,858	1,637,564	1,589,026	1,525,630	1,450,967
	資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E)	783,152	807,110	729,805	△ 75,620	823,717	833,363	785,403	759,953	754,435	701,845	675,776
	企業債残高 (H)	12,574,813	12,776,310	12,280,538	△ 495,772	12,567,101	12,035,770	11,585,460	11,182,969	10,768,317	10,414,933	10,071,024

※端数処理のため合計額は一致しません。

(消費税込み)